

あとがき

2010 年度表現論シンポジウムは公共の宿おおとり荘にて、11 月 9 日（火）から 11 月 12 日（金）まで開催されました。

シンポジウム開催にあたっては以下の科学研究費補助金から援助を受けています。

会場費、講演集の印刷製本費、通信費および旅費：

「表現論における積分と特殊関数」落合啓之（基盤研究（A）課題番号 19204011）

旅費（世話人が直接把握しているもの）：

「群の表現およびルート系に付随した微分方程式の研究とその応用」大島利雄（基盤研究（A）課題番号 20244008）

「旗多様体上の軌道とモーメント写像」西山享（基盤研究（B）課題番号 21340006）

なお、世話人側で把握していない研究費からの援助も数多くあったことと思います。

本年度は表現論ホームページの開設、管理を琉球大学の菅修一氏に依頼して連絡や参加受付などに利用させていただきました。その他準備運営ほか様々なかたちでご協力いただいた多くの方々がいらっしゃいます。シンポジウムの要である講演については、自主的に応募された講演者のほかに、世話人から依頼させていただいた講演者もいます。おかげさまで充実したプログラムを作成できました。

佐野茂氏からは、杉浦光夫先生についてのご寄稿（「杉浦光夫先生と表現論」）を頂きました。杉浦先生の表現論シンポジウムへの貢献を考慮して、この講演集に収録することにしました。佐野氏の寄稿の趣旨は次のようです。

「日本の表現論研究の歩みを振り返るとき、杉浦光夫先生の先見性と先駆的なお仕事そして同僚や後輩へのご尽力には大きなものがあります。「杉浦光夫先生と表現論」として回顧してみましたが、そこからは現在そして未来へと分野が進むべき指針を示してくださっていると励まされます。講演集への掲載に配慮して下さったオーガナイザーに感謝いたします。」

以上の方々のご協力に世話人一同厚く御礼申し上げます。

2010 年度表現論シンポジウム世話人
関口 次郎 （東京農工大学）
太田 琢也 （東京電機大学）